

令和4年 10月 4日

LINE アンケート集計結果

今回のテーマは「市制 25 周年について」でした。

今年、京田辺市が誕生（市制施行）して、25 周年の記念の年です。そこで、市民の皆さんに「市制 25 周年」に関する意識調査を行いました。

いただいたご意見は、広報紙 11 月号の特集企画「市制 25 周年」で紹介する予定です。

- ◆「友だち」登録者数 6,936 人(うちブロック数 442 人)
- ◆アンケート実施期間 令和 4 年 9 月 8 日(木)～9 月 13 日(火)
- ◆回答者数 556 人
- ◆担当課 秘書広報課（電話 0774-64-1320）

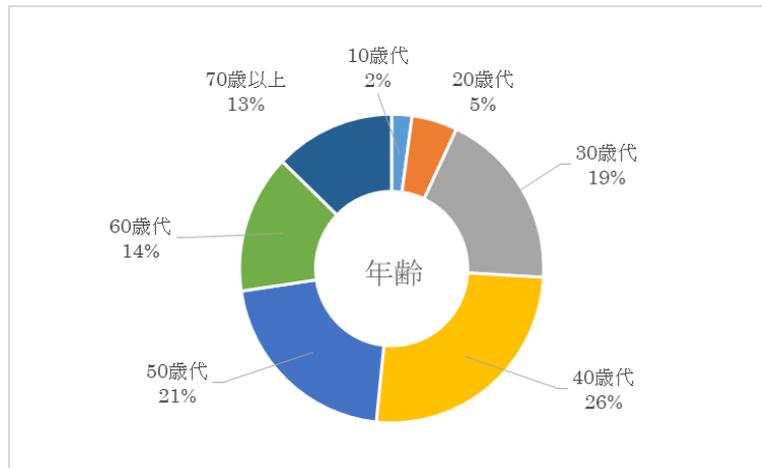
※各設問の N は、設問に対する有効回答数を意味します。

※割合(%)は小数点以下を四捨五入しています。このため、択一式の回答は合計が 100%にならない場合があります。

※本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、語句を簡略化し表示しています。

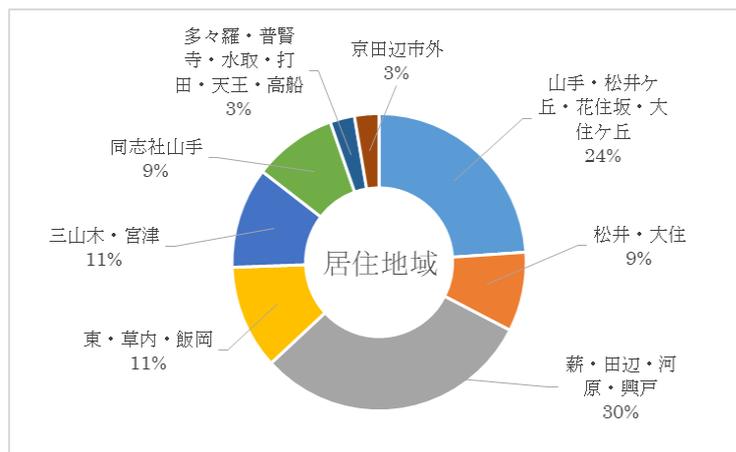
Q1 あなたの年齢を教えてください。

[択一選択・N=556]



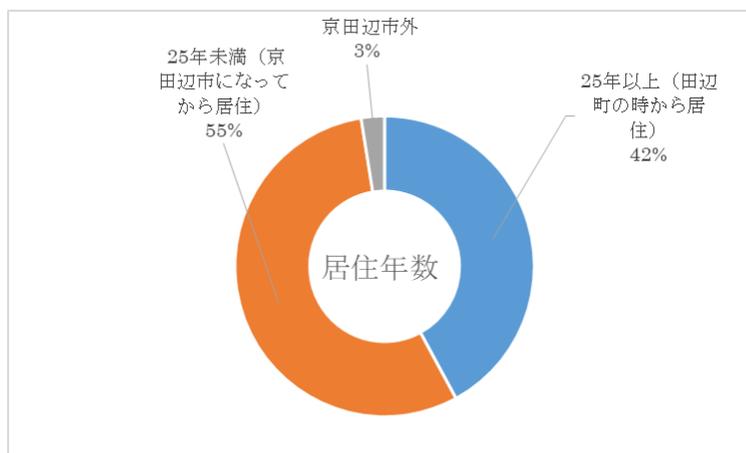
Q2 お住まいのエリアを教えてください。

[択一選択・N=556]



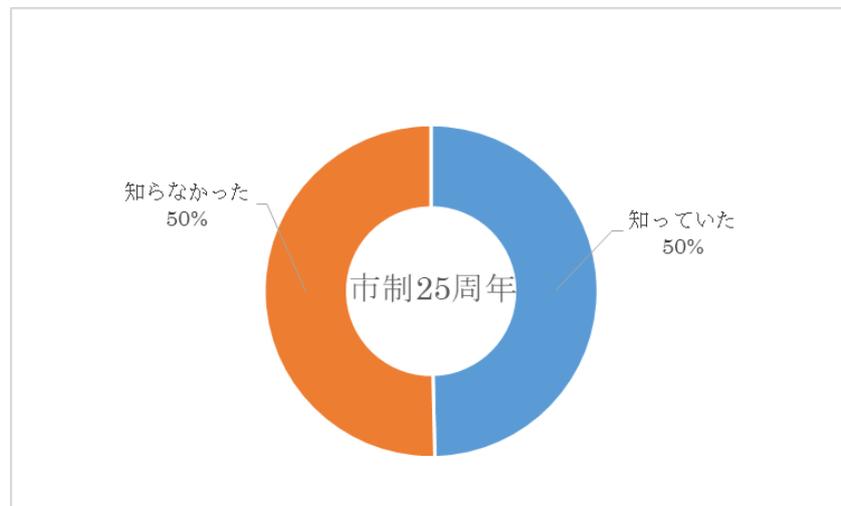
Q3 京田辺市の居住年数を教えてください。

[択一選択・N=556]

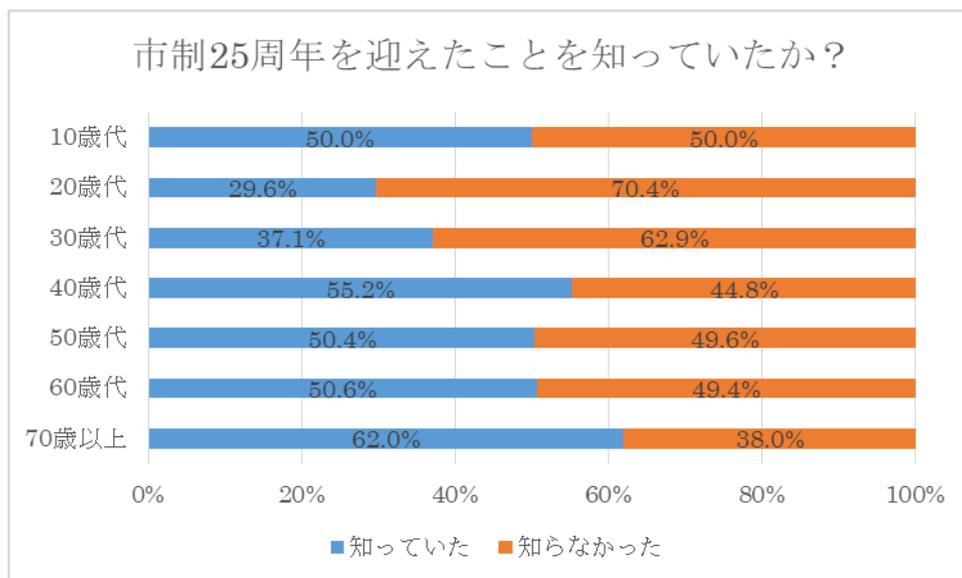


Q4 京田辺市が誕生(市制施行)して、今年4月に25周年を迎えたことを知っていましたか？

[択一選択・N=556]

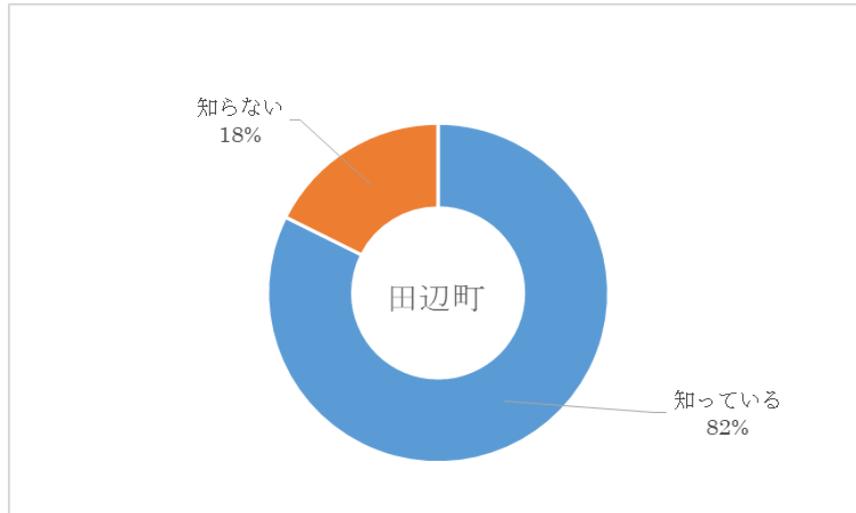


【年齢別の内訳】

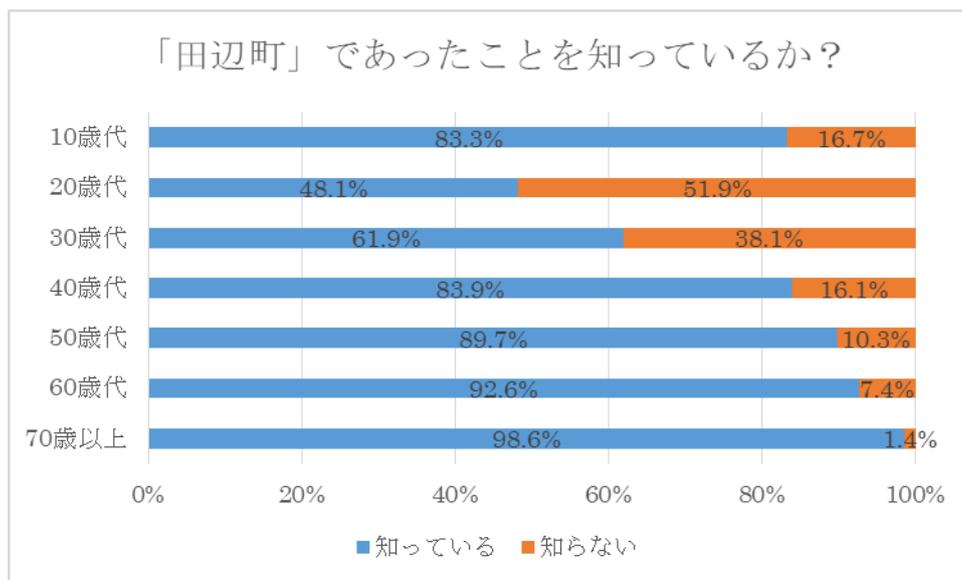


Q5 「京田辺市」になる前は「田辺町」であったことを知っていますか？

[択一選択・N=556]



【年齢別の内訳】



Q6 あなたの記憶に残る田辺町時代の市内の様子・風景・イベントなどがあればお聞かせください。

[自由記述・抜粋]

【田辺町時代の様子・風景(交通)】

- ・ 田辺駅。ローカル単線の木造駅舎とプラットフォームが風情があって大好きでした。
- ・ 京田辺駅は無人駅で小さな駅舎がぽつんとあり、当時は寂しさを感じてましたが、今となっては懐かしい風景です。
- ・ 京田辺駅が改装される以前の駅舎と桜が趣きがあり桜の季節が待ち遠しかったです。
- ・ 田辺駅が木造だった頃、待合にはストーブが置いてあって、猫も温まりにきていた。

- ・ 30年ほど前に田辺町に越してきました。田辺駅に蒸気機関車が置いてあり、しかも中に入れたので幼児だった子供たちが興味いっぱいそこで遊んでいた思い出があります。今密かに車輪だけが置いてありますが、蒸気機関車、どこかに残しておいてほしかったです。
- ・ まだ町にあまり何もなく、田舎の風景が子供心に印象的でした。駅の東側が栄えていて、本屋さん、レンタルレコード店、スーパーなどがあつた町並みを思い出します。新田辺駅が今のような立体の駅ではなく、改札を通るとすぐ駅だった、古い駅舎も印象的です。
- ・ 三山木駅はとっても小さな駅で、桜の木が周りに植えられていて、春になるととってもきれいでした。山崎へ抜ける田んぼ道に、二本の杉の木があり、間にあるお地蔵さんに手を合わせるのが恒例でした。府道に面した商店の並びの裏には、湿地帯があり、セリが自生していたので、駅から帰る時に時々摘んだりしていました。田んぼ道の南側は田んぼが広がり、夏には青々とした稲の間を抜ける風がとても涼しかったです。
- ・ 興戸駅の桜並木が綺麗でした。桜が切られる時は悲しかった記憶があります。
- ・ 田んぼの間に線路があつて、そこを少し傾いたように電車が走っていた風景
- ・ 片町線でディーゼル車が一両で走っていた姿が思い浮かびます。朝夕は一時間に一本、昼間は二時間に一本走っていた。
- ・ 三山木駅付近はまだ狭い道で、線路も高架ではなかったので、踏切付近で渋滞になっていたことがよく覚えている。また、行きつけの洋服屋さんがあつて、そこに祖母とよく遊びに行つた記憶がある。
- ・ 上田辺駅をよく利用していました。乗ってから車掌さんが切符を売りに来て紙の硬い切符が懐かしいです。
- ・ 興戸駅が今のように改札口が上になく、踏み切りの横にあり、踏み切りを渡つて向かい側のホームの京都行きの電車に乗っていました。京都方面に行く場合、早めに踏み切りを渡っていないと、奈良方面の電車が来れば、踏み切りが降りて渡れず、同じ時間発の京都行きの電車に乗れない時があつた。

【田辺町時代の様子・風景(その他)】

- ・ 一休寺西側の道沿いのコスモス。小学校の登下校時に楽しんで見ていました。
- ・ 花住坂の街並み。草木がきれいで、大人になったらこんなきれいなところにすみたいとおもつていた。
- ・ 桃畑
- ・ 最初は東鍵田に引越して来たが周りは畑、田んぼばかりでとても見晴らしが良かった。窓を開けると広いレンゲ畑が良かったね！
- ・ 同志社田辺校地に校舎がまだ建っていない時に、ススキが咲いていた状況。
- ・ 田辺町に越してきたのは、松井山手の駅ができた直後の頃。駅の周囲はまだ更地で、その向こうには竹林がずっと続いていました。虚空蔵谷の林を散歩すると、野ウサギや山鳥たちによく出会つたものです。

- ・ 中部では、田辺駅前に電話会社の鉄塔がそびえるだけで、一面に田畑が広がっていた。市になる頃に商業施設ができてちょっと賑やかになった。
- ・ まだ、新田辺駅の西側はほぼ草むらで、東側にあった市場の中にあったおもちゃ屋は、今でもしっかり覚えています。
- ・ 新田辺駅前のバス乗場、デパート、町役場、田辺駅横にあった病院など昔の懐かしい景色を思い出すとほっこりした気になります。
- ・ 平成元年に移り住みましたが、住所には「大字」「小字」がつき、周辺は竹林でした。夕方になるとヒッチコックの映画「鳥」の映像の様な鳥の群れが竹林の巣に戻っていくのを幼い子供達と眺めていました。
- ・ 新田辺駅前はとても賑わっていて、都会に感じた。改札出てすぐに商業施設があり、その中を抜けると目の前に書店と雑貨屋。そのまま商店街を抜けると市場。これらを回るのがとても楽しかった。両親と行く時はもちろん、子どもたちだけで行く時は校区外に子どもらだけで行くドキドキもあって、いつもワクワクしてた。
田辺駅前は、蒸気機関車があるのが印象的。上田辺駅は改札機がなく、車掌さんに行き先伝えて切符を買っていた。友達と行くと買い終わった頃には田辺駅に着いていた。
- ・ 花住坂が昔は山で、よく秘密基地を作って遊んだ思い出があります。
- ・ 町役場は田辺駅前にあり、天神川沿いに桜があり家族や町内で花見をした。

【田辺町時代のイベント】

- ・ 幼稚園に通ってた時、307号線の開通式に参加した。
- ・ 新田辺駅前の夜店と花火大会
- ・ 8月16日は大文字の送り火じゃなくて、田辺の花火大会。おじいちゃんの記憶は薄く顔も思い出せないけど、花火大会の時に家の前でビーチチェアで花火を見る姿を覚えている。
京田辺市になる時のイベントで、新田辺のロータリーで和太鼓を披露した。
- ・ 昔、こども祭りなる行事が秋頃に開催されていて、子供神輿を担いで中央公民館まで歩いたら、折り紙コーナーやお手玉コーナーなどがあって1日遊べるのが子供心にすごく楽しかった。
- ・ 地元の地藏盆や盆踊りは、毎年楽しみにしてましたよ。
- ・ 町の運動会があり三山木や田辺など別れて戦っていた記憶があります。屋台なども出てけっこう町ぐるみで大々的にやりましたね。
- ・ 京都国体でハンドボールを観戦したこと
- ・ 中学校時代、軟式テニスの綴喜郡大会が市役所前の土のテニスコートであったこと。
- ・ 山城大橋が新しくなった時、サンガの選手を迎えてのイベントが一番大きなイベントだったと思うし、今や30歳の子供も小さかったので心に残っています。
- ・ 山城大橋の河原で開催されていたゴールデン Week 頃のイベント。確か、商工会主催の行事だったと思います。
- ・ 一休寺の所で盆踊りを見ました。

- ・ ゴールデンウィークの頃、木津川運動公園あたりで自作ダンボールボートとかでの競争があったり、魚掴み大会があったり色々な催しがあったこと。

【その他】

- ・ 三山木は緑豊かで子どもの頃の遊び場は山。
夏はカブトやゲンジ(クワガタの事)、田んぼではカブトエビやゲンゴロウ探しなど、昆虫採集に夢中だった。また、山には野ウサギ等もいて皆で追いかけた。
- ・ 京都市内に住んでいたのも、友達からの年賀状で、京田辺市になります！って何通か届いたのを思い出します。嬉しそうでした。

Q7 「市制25周年」について、あなたが思うことや感じることを自由にご記入ください。

[自由記述・抜粋]

【「市制 25 周年」について思うこと】

- ・ 昔と変わらず穏やかで過ごしやすい市だと感じています。
子育てをするようになり、子育てのしやすい市だと感じますし、感謝する事も多いです。これからも更に子育て世代が子育てをしやすい市になっていき、ずっと過ごしやすい市でいてほしいと思っています。
- ・ 田辺町時代から住んでる方は、違和感があり、つい「田辺」と呼ぶ事が多い。
しかし、いつのまにか「京田辺」と呼ぶ人が増え、それが当たり前ようになってきてる。それに気が付いた時、もう 25 年も経ったんだ、違和感があった名前もすっかり定着し、馴染んできたんだなあ、と感じます。
- ・ 結婚して京田辺市に住み、24 年になったのですが隣町で生まれ育った事もあり、とても親しみのある京田辺市です。
市制になり、一年後に引っ越してきて一緒に子育ても始まったので、市と共に私の子育てもある様な気がします。
これからも子育てしやすい、住みやすい京田辺市を期待しています！
- ・ 高速道路がたくさんできて、いつの間にか交通道路網の拠点になりましたね。まさに成熟期ですね。今後の発展にも期待しています。
- ・ 京田辺市が大好きです。
- ・ 町から、市になる時に名前を公募していた事を覚えています。京田辺に決定して、違和感しかなかったけれど 25 年も経てば慣れるものだなと感じます。
- ・ 京田辺に昭和 63 年に転居してきて、34 年になります。都会になったね。
- ・ 記憶のあるここ 10 年だけでも、大変便利になったと思う。駅からは京都や奈良にも一本で行くことができ大変便利だと感じている。
- ・ 自分の年齢より短い期間なので、少し違和感があるが、京田辺市の良さを毎日痛感している。結婚して、京田辺市に来て、本当に良かった。
- ・ 物心ついて少しして市になったこともあり、北部の発展を渦中で見てきた。25 年で賑やかで楽しい街になったと思う。

- ・ 少しものが分かるようになってきた頃に市になったので、友達とわざわざその話をしたことを覚えています。
今でもたまに「田辺町」の表記を見ると懐かしい気持ちになります。
- ・ 京田辺市に住んでまだ5年ほどで、全く知らなかった。でも、これからずっと住もうと思っているので、長く歴史が続いてほしいと思う。
- ・ 結婚に伴い引っ越してきましたが、京田辺市は自然もたくさんあり、気に入っています。これからますますの発展を願っています。
- ・ 田辺町が京田辺市になってもう25年も経つのか、と感慨深い思いです。大きな商業施設ができてとても便利になって、人口が増えて町の様子も色々なところで少しずつ変わったなあとしみじみ思います。田辺町だった時は、いかにも田舎の町、という雰囲気が残っていたようにも思いますが、今は都会すぎず、大変な田舎すぎず、大変暮らしやすい良い場所だと思っています。
- ・ 市になったときのイベントで、着物で、お茶のふるまいのお手伝いをさせていただきました。
- ・ 今の京田辺市に住む子どもたちに、25年前の当時やそれ以前の京田辺市の風景など、市の歴史などを見たり聞いたりできる機会がもっとあると良いなと思います。市にもっと愛着を持てるために。
- ・ ずいぶん子育て世代向けに住みよく、便利な街になりました。京都市内や大阪方面、奈良へも電車1本で行けるのに、家の窓から見える風景は田んぼや畑が広がる、今も落ち着くところです。窓から見える緑の風景がこの先も続くといいなあと願っています。
- ・ 40年以上まえ、小学生で田辺町民になり、一旦他へ移りまた戻って来ましたが、様子、雰囲気が全く変わっており、その時の状態に合わせて発展しているのかなと思います。これからも進んでいくのでしょうか。
- ・ 京田辺市が皆が住みたいと思う街にこれからも発展していってくれることを願ってます。
- ・ 新しい住宅街がどんどん建設され、全国から新しい人たちが、やって来て、京田辺市民が、どんどん多彩になっていっています。
全国の色んな街の特質を知っている人たちが寄り集まって、街の在り方や街の創り方や、未来をみんなで色んな意見を出し合って、お互い敬意を持って、新しい京田辺市を創り上げて行きたいです。
- ・ 当時、父たちが年賀状の差出人の印鑑を田辺町から京田辺市に作ってたことを思い出しました。住所が、長いなーと感じてました(笑)
- ・ 田辺を離れていた間に京田辺市になったとき、我がふるさととも都会になるんだなあ、と思ったのを記憶しています。今、京田辺市民となって、その通りになったと実感しています。その一方、自然もたっぷりなままで、すばらしいところに住めていることに満足しています。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

いただいたご意見は、広報紙11月号の特集企画「市制25周年」で紹介する予定です。